

年度 2009	学期 前期	曜日・校時 月・3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)		ドイツ語 III German		
対象年次 2年次	講義形態 演習			
対象学生(クラス等)	2D16・17,2T20A・20B	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員: 山下哲雄 /Eメールアドレス: yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp /オフィスアワー: 2校時後の昼休み、3校時後の休み時間				
<p>授業のねらい: ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。</p> <p>授業方法: 会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。</p> <p>授業到達目標: ドイツ語を好きになり、ドイツそしてヨーロッパに興味を持つ。</p>				
<p>授業内容</p> <p>ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。</p> <p>第1回 ビデオでドイツを紹介、自己紹介</p> <p>第2回 自分の一日の生活</p> <p>第3回 旅行</p> <p>第4回 空港、駅の窓口</p> <p>第5回 レストランで注文する</p> <p>第6回 食事の勘定を支払う</p> <p>第7回 ペンションを電話で予約する</p> <p>第8回 郵便局はどこですか</p> <p>第9回 この近くにスーパーはありますか</p> <p>第10回 日本への手紙はいくらですか</p> <p>第11回 そちらの天気はどうですか</p> <p>第12回 雨が降れば、何をしますか</p> <p>第13回 誕生日に辞書をプレゼントしたら</p> <p>第14回 カメラ店で</p> <p>第15回 定期試験、前期の授業の総括、ビデオでドイツの文化を見る</p>				
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく			
教科書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者: 佐藤修子 他、(株)三修社			
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ				
備考				